



銅像製作 稲田勇 題字 武田双雲

宇城総合病院広報誌

れいめい

2014
2月
冬号

目次

ごあいさつ	①	お薬手帳の活用	④
診療科だより ~ 整形外科 ~	②	リハビリ便り	⑤
平成25年度 熊本県男女 共同参画推進事業者表彰受賞	③	連携室便り	⑥
第10回 PEG連携会議	③	外来診療表	⑦
うきうき会 いち押しデザート	④		



社会医療法人 黎明会

宇城総合病院

■発行/社会医療法人黎明会 宇城総合病院 広報委員会
〒869-0532 熊本県宇城市松橋町久具691
TEL.0964-32-3111 FAX.0964-32-3112
URL <http://www.reimeikai.jp/>

病院長 江上 寛



渡を受け、宇城総合病院の病床を25床増床することができました。本年4月から総病床数204床の病院としてスタートすることとなります。この増床が病床不足の解消につながり、さらには皆様へのサービス向上に繋がってくればと期待しているところです。

日頃より皆様には多方面にわたりご指導、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。宇城総合病院は現在地に新築移転して1年が経過しました。移転に伴い患者数も増加し、また救急外来に来院する救急車の台数も年々増え、昨年は年間1197台を数えるに至りました。入院期間をできるだけ短くしていたきながらこの1年なんとかなりくりをさせていただきましたが、病床不足のためお断りせざるを得なかったこともあり、ご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

昨年、ともし未来病院の事業譲

一方、病床数200床以上の病院となると保険上の取り扱いが変わり、外来では初回受診時に他医療機関からの紹介状が必要となります。外来診療に関する変更点等につきまして随時お知らせをしておりますが、ご不明の点などありましたら病院にお問い合わせください。ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

さて地域医療における医師不足、看護師不足が叫ばれて久しくなりますが、この宇城地域も例外ではありません。医療を支えるのは人の力です。病院では多くの人が集まる魅力ある職場にしようと就労

環境の整備にも力を入れ、民間ならではの工夫をしてきました。そのような中で、院内保育室の整備や産休、育休制度の整備、リフレッシュ休暇制度やボランティア休暇制度の創設、ワークライフバランスの推進、ストレス対策としての相談室の設置など様々な工夫が評価され、昨年の11月19日男女共同参画推進事業所として熊本県知事表彰を受けました。表彰を知ってさらに多くのスタッフが集まってくればと思っております。表彰に恥じないよう今後も就労環境の改善に取り組みます。

最近の話題をもう一つ。当院では南側駐車場に陸上型の災害用ヘリポートを設置しています。この

ヘリポートは救急用としても使用可能で、ドクターヘリとの運用訓練も行いすでに着々と使用実績を上げています。陸上型での使用やすさや地理的条件もあって警察や海上保安庁など各方面から使用の打診があり、災害拠点病院や救急病院としてのシンボリックなものではなく、今後も大いに活躍し地域に貢献してくれるものと期待しています。

病院では新築移転に際し、屋外、屋上など空いたスペースに基準の5倍以上の木々や草花を植え敷地内の緑化を行いました。緑が豊かに育ち、四季折々の花が咲くようになれば、寛ぎの場所として今とは違った新しい病院の姿をお見せできるようになると思います。病院には決して豪華さや派手なパフォーマンスはありませんが、誠実な医療を実践しながら地域に貢献できる病院であり続けられるよう、そして今後も「断らない医療」を続けられるようスタッフ一同努力を続けてまいります。皆様には変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

診療科だより

整形外科

整形外科部長 大多和 聡



2012年10月に新病院に引越してきましたが、当初は右往左往していました。特に外来業務で、患者さんから待ち時間が長いことへのクレームが多く、対応に苦慮しておりました。待ち時間が長い

ことはご紹介をいただきます医療機関の先生方から、「おたくは待ち時間が長くて、患者さんからも文句を言われるんだ。」とお叱りを受けることもありました。患者さんにも紹介元の先生方にも多大な迷惑をおかけしましたことを、この紙面をお借りしまして、お詫び申し上げます。

2012年度は外来の新患者が前年度比2割増で、再診数は5割

近くも増加していました。外来担当医以外の手の空いている者が極力応援にも入るようにしていましたが、それでもクレームは減らず、2013年5月より、江上院長からの提案で、リハビリ診察を分離し、医事課から待ち時間のアナウンスを徹底していただき、午後の一般外来患者については、近隣の整形外科の先生を紹介することも行っており、待ち時間に対するクレームは少しずつ減少しているようです。

病院からは、手術件数を増やし、外来患者さんは近隣の医療機関へお願いするよう指導されています。手術件数は増えておりませんが、当院で対応可能な症例につきましては、最善を尽くしてまいりたいと考えております。また、外来患者さんにつきましては、協力機関にお願ひすることが増えていくと思っております、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

電子カルテなどにも慣れてきて、利便性を感じています。つまり、IT化で恩恵を受けているということになります。患者さんのほうも情報社会の中で、知識が豊富になり、要求のレベルも上がってきたように感じます。赤城先生・山城先生と力を合わせて、患者満足度をあげるべく努力し、地域医療に貢献してまいりたいと思えます。

一般診療以外では、2013年8月より骨粗鬆症リエンチームを立ち上げ、他科の患者さんについても、骨粗鬆症診療を行っております。2014年3月には福岡から講師を迎え、勉強会も予定しております。今後、できれば定期的に勉強会などを行っていきたいと思えます。開催する時には、病院の内外にお知らせしますので是非ご参加いただけますようお願いいたします。

新病院移転のときに病院のコンセプトを表すキャッチフレーズを募集していただきました。私は「あなたのおかげに 地域のために 宇城総合病院」というものを応募しました。その精神を忘れることな

く、せっかく、病院の建物が立派になったのですから、ソフト面でも充実するよう頑張ってくださいと考えておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

診療実績

外来患者数	2010年度	新患	2002名	再診	6460名	手術例の内訳
	2011年度	新患	2051名	再診	6727名	
	2012年度	新患	2398名	再診	9941名	
入院患者数	2010年度	601名				●局所麻酔手術 59例 ●骨折 156例 ●人工関節 47例 ●関節鏡手術 35例 ●脊椎 18例 ●その他 104例
	2011年度	792名				
	2012年度	710名				
手術件数	2010年度	326例				
	2011年度	396例				
	2012年度	360例				

平成25年度 熊本県男女共同参画推進事業者表彰受賞

当院は平成25年11月19日に、平成25年度熊本県男女共同参画推進事業者表彰を受賞しました。これは、仕事と家庭の両立支援、女性の管理職登用など男女がともに働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所に対し表彰されるものです。当院は、管理職の5割以上が女性であることや年次有給休暇の利用促進を目的とした実態調査の実施、セクシャルハラスメント防止対策としての人事相談室の設置、残業時間の削減、「NO残業DAY」の推進などの取り組みが評価され、この度の受賞に至りました。

今後も継続して仕事と家庭の両立の支援を行い、職員のワークライフバランスに配慮した職場づくりに努めてまいります。



第10回 PEG 連携会議 (H25. 12. 4)

外科 前田 健晴

平成25年12月4日に第10回 PEG 連携会議を開催致しました。参加者は院内20名、院外の宇城地域32施設から44名（医師2名、看護師25名、介護福祉士11名、ソーシャルワーカー2名、その他4名）の合計64名に参加して頂きました。

現在 PEG は経口摂取ができない患者様に対する栄養手段として広く普及していますが、その適応を含めいまだに様々な問題や疑問（造設方法、チューブ管理、栄養注入、薬剤注入、地域連携など）を抱えているのが現状であります。PEG 連携会議は、地域施設職員の方々の PEG に対する不安や疑問などを解消し、PEG 造設後の患者様の受け皿を広めることを目的に平成20年11月に発足し、半年に1回開催しております。毎回、当院の医師、看護師、栄養士、薬剤師、言語聴覚士らが交代でそれぞれの担当分野で PEG に関する講演を行っていましたが、今回は第10回の節目の会でもありますので、PEG ケアカンファレンス熊本の代表世話人である城本胃腸科内科クリニックの城本和明先生に「ペグ (PEG) を使いこなすためのコツ」というタイトルで御講演して頂きました。城本和明先生は PEG の第一人者であり、PEG に関する様々な講演や活動を積極的に行っておられる先生です。講演では PEG の適応やチューブの種類などの基本から造設方法やチューブ管理まで幅広く御講演して頂きました。参加者の皆様も大変わかりやすかったとの感想が多く、特にいろいろな種類のチューブを実際に触れながら説明して頂いたところが、初めて見て勉強になったと好評でした。次回は今年5月頃に第11回を開催する予定です。次回も多数のご参加をお待ちしております。



うきうき会（糖尿病患者会）いち押しデザート

生活習慣病は食生活や運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣によって引き起こされる病気で、年々増加の一途をたどっています。その生活習慣病の一番の原因は肥満です。そこで、食生活を見直すことは極めて重要です。できることから少しずつ、改善していきましょう。

今回は簡単にできるデザートの紹介です。生活習慣病教室で提供している低カロリーデザートの1つです。砂糖の代わりに低甘味料を使用しています。

いちごのゼリー

材料（4人分）

・いちご	120g
・低甘味料（砂糖）	20g（15g）
・レモン汁	小さじ1
・粉ゼラチン	8g
・ゼラチンふやかし用水	40cc
・水	200cc
・レモン汁	大さじ1
・ミントの葉	適宜

砂糖の場合：32 kcal/1人分

砂糖と比較して
14kcal ダウン

低甘味料の場合：18 kcal/1人分

作り方

- ①鍋にいちご80g（2/3）、低甘味料、レモン汁を入れて混ぜ、10分置く。
- ②鍋を中火にかけ、15分煮てアクを取る。ガーゼに入れて（自然に）こす。
- ③ゼラチンをふやかし、湯せんで溶かす。
- ④②の果汁に水、レモン汁大さじ1杯、ゼラチン、残りの乱切りいちごを加え、型に入れ冷やし固める。



旬の果物やトマトもおすすめです。
酸味が強いと、ゼリーを柔らかくしてしまいます。
その場合は、果汁の使用量を少なくしてください。

管理栄養士：小野

お薬手帳を活用しましょう

薬剤科

お薬手帳を活用すると安全な薬の使用ができます。

お薬手帳の目的は主に次の4つです。

1. 相互作用の防止
複数の診療科で出された薬の作用の減弱や同時に飲んではいけない薬などチェックができます。
2. 重複投与の防止
薬品名が違うのに同じ薬だったり、作用が重なる薬のチェックができます。
3. 薬剤アレルギー・副作用の防止
過去に経験した薬品や食品に対するアレルギー歴や副作用歴を記載することでリスクを回避できます。
4. 病歴・病状の推測
過去から現在までのお薬を見ることで病状の流れが分かります。

以上の便利な機能を有効にするためにもお薬手帳は一冊にまとめましょう。

- * 「お薬手帳」の目的を理解して一人一冊にしましょう。
- * どの医療機関（病院、クリニック、薬局）でも、まずは「お薬手帳」を見せましょう。
- * 「お薬手帳」を見ると医療機関では不明な点を解決できたり、わからない場合にも問合せができます。



リハビリ便り

宇城総合病院での取り組みの一つである「スマートライフプロジェクト」の一環として、リハビリテーション部では、「リハビリテーション室の職員への開放」と《スマートライフ講座》を開催しています。

リハビリテーション室の開放は、患者様の訓練時間以外

〔お昼 12:30～13:30〕

〔夕方 17:30～18:30〕

の時間帯を開放しています。

利用者の方々には、まず開始時に身体計測を実施します。体組成計を用いて、体重だけでなく、体脂肪率や筋肉量などを計測し、ご自分の体を把握した上

で運動を行っていただきます。それから、体力向上、ダイエット、生活習慣病予防、メタボ予防、ロコモシンドローム予防など、それぞれの目的に応じたプログラムの提案をさせていただきます。

リハビリテーション室には自転車エルゴメーターやトレッドミル、NUTSTEPなどの運動機器がありますので、それぞれの使用方法の説明やより効果的に使用していただく為に、運動



負荷の設定や目標値の提示・指導などを行っています。

ご希望に合わせて、ストレッチや筋力トレーニングの指導も行い、職員の皆様の健康増進のお手伝いをさせていただきます。

また、第一回スマートライフ講座「心も身体も健康に」SMART体操を開催しました。身体に痛みが生じる原因の説明・心と体を健康に保つための体操を、理学療法士からの視点でお伝えしました。説明後は、参加者皆様に実際にストレッチ体操を行い、心身ともにリフレッシュしていただきました。今後も定期的に実施していく予定です。



連携室便り

やすらぎ 第三十号



病気になったり怪我をしたりして入院が必要になった時、皆さんは何が一番心配ですか。家庭のことでしょうか。仕事のことでしょうか。入院をきっかけに、今までは考えてもみなかった困り事が顕在化することがあります。その一つが、入院費の支払いなど経済的な負担に関わることです。

日本で公的医療保険制度が初めて制定されたのは一九二二年のこと、その後一九六一年に国民皆保険制度が実現しています。したがって現在日本では、すべての国民が何らかの公的医療保険に加入することになっています。

高額療養費制度

公的医療保険には健康保険や共済組合、国民健康保険など数種類ありますが、どの保険に加入していても、全国で平等な医療が受けられます。治療の際には、例えば七〇歳未満の現役世代の方は通常、医療費の七割を医療保険が負担し、残り三割を一部負担金として患者さん自身が自己負担することになっていま

す。その自己負担額が暦月（月の初めから終わりまで）で一定額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度が**高額療養費制度（こうがくりようようひせいど）**です。高額療養費では、年齢や所得に応じて、患者さんが支払う医療費の上限が定められています。最終的な自己負担額となる毎月の「**負担の上限額**」は、加入者が七〇歳以上かどうかや、加入者の所得水準によって分けられます。七〇歳以上の方には、外来だけの上限額も設けられています。さらに「世帯合算」や「多数回該当」といった仕組みにより、最終的な自己負担額が軽減されます。

またよくある質問で、支給申請はいつまでさかのぼって行うことが可能ですかというものがありません。高額療養費の支給を受ける権利の消滅時効は、診療を受けた月の翌月の初日から二年です。したがって、この二年間の消滅時効にかかっていない高額療養費であれば、過去にさかのぼって支給申請することができま

す。まだ申請されていない方は、ぜひ申請して下さい。
詳しくは下記の地域医療連携室に遠慮なくお尋ね下さい。



● 相談をご希望の方へ ●

担当医や看護師に申し出ていただくか、直接医療福祉相談室（地域医療連携室）にお越しください。

- * 事前に電話などで面接のご予約をしていただくことも出来ます。
- また、電話でのご相談もお受けいたします。

医療福祉相談室（地域医療連携室）

- 時間 / 月曜日～土曜日 8:30～17:30
- 場所 / 1階（外来30番受付斜め前）
- 電話 / 0964-32-3218（直通） 0964-32-3111（代表）

4月1日より外来初診時は紹介状が必要となります

当院は、平成26年4月1日から増床により200床以上の医療機関となります。これに伴い、外来初診時には紹介状が必要となります。つきましては、他の保険医療機関等からの紹介状がなく、当院に直接来院した患者さんについては、初診に係る費用として2,000円をお支払い頂くこととなりますので、何卒ご理解下さいますようお願いいたします。

(ただし、緊急その他やむを得ない事情により、他の医療機関からの紹介によらず来院した場合にあってはこの限りではありません。)

◆ 外来診療医師一覧表 ◆

平成26年2月1日～

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
外科	診療担当医	栗崎 貴 (消化器外科)	江上 寛 (消化器外科)	松田 貞士 (消化器外科)	栗崎 貴 (消化器外科)	前田 健晴 (消化器外科)	担当医 (AM)
	午後	手術・救急対応					
整形外科	診療担当医	山城 和馬 (整形外科)	井 賢治 (整形・ペインクリニック)	大多和 聡 (整形外科)	藤枝浩司(非常勤) (整形外科)	赤城 哲哉 (整形外科)	救急対応
	午後	手術・救急対応					
リハビリ科	診療担当医	江上 寛 (消化器外科)	赤城 哲哉 (整形外科)	中野 章 (外科)	赤城 哲哉 (整形外科)	中野 章 (外科)	病棟回診・救急対応
	午後	病棟回診・救急対応					
内科	診療担当医	小山田 直朗 (消化器内科)	神波 やよい (循環器内科)	小山田 直朗 (消化器内科)	采田 憲昭 (消化器内科)	小山田 直朗 (消化器内科)	担当医 (AM)
		米良 昭彦 (呼吸器内科)	福田 秀明 (呼吸器内科)	米良 昭彦 (呼吸器内科)	米良 昭彦 (呼吸器内科)	福田 秀明 (呼吸器内科)	
		福田 秀明 (呼吸器内科)	盛 三千孝 (内科)	平原智雄(非常勤) (神経内科)			
	午後	病棟回診・救急対応					救急対応
循環器内科	診療担当医	(非常勤) (循環器内科)	中村亮斉(非常勤) (循環器内科)	(非常勤) (循環器内科)	上村智明(非常勤) (循環器内科)	泉家康宏(非常勤) (循環器内科)	
糖尿病センター	診療担当医	竹田 晴生 (代謝内科)	竹田 晴生 (代謝内科)	竹田 晴生 (代謝内科)	竹田 晴生 (代謝内科)	竹田 晴生 (代謝内科)	
小児科	診療担当医	AM 板井 義男	村上 幹彦	板井 義男	板井 義男	村上 幹彦	
	PM 板井 義男	板井 義男	板井 義男	板井 義男	板井 義男		
泌尿器科	診療担当医	中村 武利			中村 武利		
心エコー検査担当医		神波 やよい	神波 やよい	神波 やよい	神波 やよい	神波 やよい	
内視鏡検査担当医	AM	松田貞士・前田健晴	前田健晴・小山田直朗	栗崎 貴・前田健晴	松田貞士・小山田直朗	栗崎 貴・松田貞士	
	PM	松田貞士・前田健晴	小山田直朗	采田憲昭	松田貞士	前田健晴	
放射線科	読影担当医	前田 陽夫	前田 陽夫	前田 陽夫	前田 陽夫	前田 陽夫	
健診センター	診療担当医	AM 采田憲昭(予約制)	采田憲昭(予約制)	采田憲昭(予約制)		采田憲昭(予約制)	
リハビリテーション	AM	《受付時間》 9:00～11:30					
	PM	13:30～15:30					
腎・透析センター	透析担当医	～15時 盛 三千孝	中村 武利	盛 三千孝	盛 三千孝	中村 武利	盛三千孝 又は中村武利
		15時～ 盛 三千孝		盛 三千孝		中村 武利	

受付時間 【平日】 8:30～12:00 (但し、泌尿器科11:30まで、整形外科11:30まで) 【土・日・祝日】 救急対応
 (小児科夕診) 受付時間 月曜～金曜 14:30～16:30

宇城総合病院理念

誠実な医療を実践し地域に貢献します

基本方針

- ・地域のニーズに応える
- ・安全な医療の実践
- ・魅力ある職場づくり